



CHAPTER 11

Cisco Unity Connection 9.x クラスタの作成または変更

この章の内容は、次のとおりです。

- 「9.x サーバの追加による Connection クラスタの作成」(P.11-1)
- 「Connection クラスタが設定されていない単一サーバへの 9.x パブリッシャ サーバの変換」(P.11-3)

9.x サーバの追加による Connection クラスタの作成

Connection 9.x サーバが 1 台ある場合は、サブスライバ サーバを追加して Connection クラスタを作成できます。

この項の 3 つの手順を、示されている順序で実行します。

- サブスライバ サーバをインストールするには
- Connection クラスタの電話システムを設定するには
- クラスタ用に Cisco Unity Connection を設定するには

サブスライバ サーバをインストールするには

『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/installation/guide/9xcucigx.html) の「**Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 9.x System**」の章にある「**Task List for Installing a Cisco Unity Connection 9.x system with a Connection Cluster Configured**」の「**Part 3: Configuring the Cluster, and Installing and Configuring the Subscriber Connection Server**」の手順を実行します。



注意

両方の Connection サーバに同じソフトウェアおよび ES バージョンがインストールされている必要があります。異なる場合、Connection クラスタが正常に機能しない可能性があります。

Connection クラスタの電話システムを設定するには

電話システム連動の種類に応じて、該当する資料を参照してください。

Skippy Client Control Protocol (SCCP) による Cisco Unified Communications Manager との連動

- a. サブスクリバサーバに接続する電話システム上のポートを追加するには、該当する『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Cisco Voicemail Port Wizard」の章にある「Adding Ports to an Existing Cisco Voice-Mail Server」を参照してください。
- b. 応答ボイスメールポートの回線グループの [分散アルゴリズム (Distribution Algorithm)] フィールドを [優先度順 (Top Down)] に設定するには、該当する『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Line Group Configuration」の章にある「Configuring a Line Group」を参照してください。

Skippy Client Control Protocol (SCCP) による Cisco Unified Communications Manager Express との連動

サブスクリバサーバに接続する電話システム上のポートを追加するには、『*Cisco Unified Communications Manager Express System Administrator Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/products_installation_and_configuration_guides_list.html) の「Integrating Voice Mail」の章にある「How to Configure Voice-Mail Integration」を参照してください。

SIP トランクによる Cisco Unified Communications Manager との連動

『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guide) の「Programming the Cisco Unified Communications Manager Phone System for Integrating with Cisco Unity Connection」を参照してください。

SIP トランクによる Cisco Unified Communications Manager Express との連動

『*Cisco Unified Communications Manager Express SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) の「Programming the Cisco Unified Communications Manager Express Phone System for Integrating with Cisco Unity Connection」を参照してください。

PIMG/TIMG 装置による連動

該当する Cisco Unity Connection 連動ガイド (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) の「Setting Up the PIMG Units」または「Setting Up the TIMG Units」を参照してください。

SIP を使用するその他の連動

該当する Cisco Unity Connection 連動ガイド (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) の「Programming the <Phone System>」を参照してください。

クラスタ用に Cisco Unity Connection を設定するには

電話システム連動に応じて、該当する資料を参照してください。

Cisco Unified CM および Cisco Unified CM Express の連動

パブリッシャ サーバ上の該当するポート グループにボイス メッセージ ポートを追加するには、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html) の「[Managing the Phone System Integrations](#)」の章にある「[Managing Ports](#)」を参照してください。



(注) Connection サーバのポート数の合計は、Cisco Unity Connection ライセンスによりイネーブルになっているポート数を超えないようにしてください。

PIMG/TIMG 連動を除くすべての電話システム連動

パブリッシャ サーバ上のポートを設定するには、該当する Cisco Unity Connection 連動ガイド (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) の「[Creating the Integration with the <Phone System>](#)」を参照してください。

Connection クラスタが設定されていない単一サーバへの 9.x パブリッシャ サーバの変換

サブスクリバ サーバを Connection クラスタから削除し、Connection クラスタを取り消すことができます。パブリッシャ サーバは Connection クラスタでない単一のサーバとなり、サブスクリバ サーバはネットワークから削除されます。



- (注)
- Connection クラスタでない単一のサーバとしてサブスクリバ サーバを使用するには、サーバに Connection を再インストールする必要があります。
 - Connection クラスタからパブリッシャ サーバを削除することはできません。

この項の 5 つの手順を、示されている順序で実行します。

パブリッシャ サーバのステータスを手動で [プライマリ (Primary)] に変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- ステップ 2** [ツール (Tools)] メニューで [クラスタ管理 (Cluster Management)] を選択します。
- ステップ 3** [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの [サーバ マネージャ (Server Manager)] でパブリッシャ サーバを見つけます。
- ステップ 4** パブリッシャ サーバのステータスが [プライマリ (Primary)] の場合は、この手順の以降のステップを省略して次の手順に進みます。
- パブリッシャ サーバのステータスが [セカンダリ (Secondary)] の場合は、[ステップ 5](#)に進みます。

パブリッシャのステータスが [非アクティブ (Deactivated)] の場合は、[セカンダリ (Secondary)] に変更します。

- a. パブリッシャ サーバの [サーバ ステータスの変更 (Change Server Status)] カラムで [アクティベート (Activate)] を選択します。
- b. サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。
- c. [サーバ ステータス (Server Status)] カラムでパブリッシャ サーバのステータスが [セカンダリ (Secondary)] になっていることを確認します。

ステップ 5 パブリッシャ サーバの [サーバ ステータスの変更 (Change Server Status)] カラムで [プライマリにする (Make Primary)] を選択します。

ステップ 6 サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。

変更が完了すると、[サーバ ステータス (Server Status)] カラムに変更されたステータスが表示されます。



(注) サブスクライバ サーバのステータスは自動的に [セカンダリ (Secondary)] に変更されます。

サブスクライバ サーバのステータスを手動で [セカンダリ (Secondary)] から [非アクティブ (Deactivated)] に変更するには

ステップ 1 Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログインします。

ステップ 2 [Cisco Unity Connection] メニューで [ポート モニタ (Port Monitor)] を選択します。右側のペインに [ポート モニタ (Port Monitor)] ツールが表示されます。

ステップ 3 [ノード (Node)] フィールドでサブスクライバ サーバを選択します。

ステップ 4 右側のペインで [ポーリングの開始 (Start Polling)] を選択します。

ステップ 5 ボイス メッセージ ポートがサーバのコールを処理中でないかどうか確認します。

ステップ 6 ボイス メッセージ ポートがサーバのコールを処理中でない場合は、[ステップ 7](#) に進みます。

サーバのコールを処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、Cisco Unity Connection Serviceability の [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの [ポート ステータスの変更 (Change Port Status)] でサブスクライバ サーバに対し [コールの取得の停止 (Stop Taking Calls)] を選択して、サーバのすべてのポートがアイドル状態であることが RTMT に表示されるのを待ちます。

ステップ 7 Cisco Unity Connection Serviceability の [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの [サーバ マネージャ (Server Manager)] で、サブスクライバ サーバの [サーバ ステータスの変更 (Change Server Status)] カラムにある [非アクティブ化 (Deactivate)] を選択します。

ステップ 8 サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。

変更が完了すると、[サーバ ステータス (Server Status)] カラムにサブスクライバ サーバの変更されたステータスが表示されます。

環境からサブスクライバ サーバを取り除くには

ステップ 1 サブスクライバ サーバをシャットダウンします。

[サーバ ステータス (Server Status)] カラムでサブスクリバ サーバのステータスが [機能していない (Not Functioning)] であると表示されます。

- ステップ 2** サブスクリバ サーバからネットワーク ケーブルを取り外します。
サブスクリバ サーバを環境から取り除くことができます。

クラスタからサブスクリバ サーバを削除するには

- ステップ 1** パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection Administration にログインします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection Administration で [システム設定 (System Settings)] を展開してから、[クラスタ (Cluster)] を選択します。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで [検索 (Find)] を選択して、クラスタ内のすべてのサーバを表示します。
- ステップ 4** サブスクリバ サーバの名前の先頭にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 5** サーバの削除の確認を求められたら、[OK] を選択します。
-

すべてのコールが残っている Connection サーバに転送されるようにするには

電話システム連動の種類に応じて、該当する資料を参照してください。

Skiny Client Control Protocol (SCCP) による Cisco Unified Communications Manager との連動

- a. サブスクリバ サーバに接続していた電話システム上のポートを削除するには、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) を参照してください。
- b. 電話システムでボイスメール ポートのハント グループから残りのサーバ (パブリッシャ) のみに通話が送信されるように設定します。

Skiny Client Control Protocol (SCCP) による Cisco Unified Communications Manager Express との連動

- a. サブスクリバ サーバに接続していた電話システム上のポートを削除するには、『Cisco Unified Communications Manager Express System Administration Guide』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/products_installation_and_configuration_guides_list.html) を参照してください。
- b. 電話システムでボイスメール ポートのハント グループから残りのサーバ (パブリッシャ) のみに通話が送信されるように設定します。

SIP トランクによる Cisco Unified Communications Manager との連動

電話システム上のボイスメール ポートのハント グループを設定し、残っているサーバ (パブリッシャ) にだけコールを送信するには、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) を参照してください。

SIP トランクによる Cisco Unified Communications Manager Express との連動

電話システム上のボイスメール ポートのハント グループを設定し、残っているサーバ（パブリッシャ）にだけコールを送信するには、『*Cisco Unified Communications Manager Express System Administration Guide*』

(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/products_installation_and_configuration_guides_list.html) を参照してください。

PIMG/TIMG 装置による連動

PIMG/TIMG 装置を設定し、コールをすべて残りのサーバ（パブリッシャ）に送信するには、該当する Cisco Unity Connection 連動ガイド

(http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) の「Setting Up the PIMG Units」または「Setting Up the TIMG Units」を参照してください。

SIP を使用するその他の連動

電話システムでボイスメール ポートのハント グループから残りのサーバ（パブリッシャ）のみに通話が送信されるように設定するには、電話システムのマニュアルを参照してください。
